

レジリエンス視点で学ぶ大学職員の組織運営入門

宮林 常崇(東京都公立大学法人 開設準備担当部長(兼)東京都立大学 学務・国際担当部長)

講師略歴

公立大学法人首都大学東京(現 東京都公立大学法人)に入職後、首都大学東京(現 東京都立大学)で教務畑を中心に歩み、文部科学省へ出向した後、URA室長、企画広報課長、東京都立産業技術大学院大学管理課長、理系管理課長、教務課長等を経て2026年4月から現職。主に職員対象の研修会やセミナーにおいて人材育成に関する報告・発表を行っている。愛媛大学教育企画室(教職員能力開発拠点)プロジェクトフェロー、名古屋大学高等教育研究センター教務系SD研究会・大学教務実践研究会事務局長、公立大学協会事務局参与。著書に『大学の教務 Q&A 第2版』(共編著)、『大学業務の実践方法』(共編著)、『大学教育の国際化』(共編著)、『大学教育と学生支援』(分担執筆)などがある。

プログラム概要

新たな課題にチームで対応できる・できない事務組織は、それぞれどのような特徴があるのでしょうか。対応できない組織が抱えている課題とは永遠に解決しないものなのでしょうか。

業務量の増大やストレスのかかる対応等の理由で現場を支える職員がメンタル不調で離脱してしまうケースが増えています。特に、大学業務を的確に遂行しながら、周りの教職員を支援し、組織を動かすことが求められている管理・監督職には、これまで以上に高い負荷がかかっています。

この研修は、変化が多く負荷のかかりやすい職場環境でも、組織がうまく立ち直り、安定して機能し続けるために役立つマネジメントの考え方や方法を学びます。ストレス対処だけでなく、チームづくり、業務プロセスの見直し、AI時代の職員育成など、強く・しなやかな事務組織をつくるために必要な知識・理解や技術を身につけます。安心して働き続けられる職場づくりのキックオフにできればと思います。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

1. 事務組織の改善に興味のある教職員
2. 事務組織のリーダー(課長や係長)
3. 事務組織のリーダーを目指るか悩んでいる方
4. AI時代の事務系管理職の育成方法に興味のある方

到達目標

1. 強く・しなやかな職場(大学の事務組織)づくりに貢献することができる。
2. チームづくり、業務プロセスの見直し、AI時代の職員育成など、組織を強く・しなやかにするための具体的な方法を理解し、職場で実践できる。
3. 職員が安心して働き続けられる職場づくりにそれぞれの立場で貢献することができる。
4. メンタル不調による職員の離脱を防ぐためのマネジメントの基本を理解し、職場で実践することができる。